

どんぐり感謝祭

はすね福祉作業所・とくまる福祉作業所合同のお祭り

「どんぐり感謝祭」が、10月7日(土)真畔(まなづ)公園・とくまる福祉作業所を会場に開催されました。

今回は2事業所合同での開催という初めての試み。利用者さん・職員・ボランティアも含めると総勢140名が関わるといって、チャレンジでした。それにもまして

B型・生活介護それぞれで練習してきた演目を力いっぱい叩き、拍手喝采を受けました。その後ステージは昼休憩をはさみ、ステージボラ4団体と、作



業所のクラブ活動の取り組み「ミュージックタイム」の発表がありました。模擬店は、焼きそば・フランクフルト・スープ餃子・きのこピラフ・パン・プリン・クッキー・綿菓子・ポップコーン・自主生産品・ゲー



度より全ての社会福祉法人が新しいところ。また、にりん草の生活介護は、作業能力が高いことが特徴といえます。それ故、作業面においても作業の内容を共通にしていくことも重要となってきます。とくまるが受注している業者の協力を

げ)など15店舗。いろいろなお店があつて良いですね」と好評でした。心配していた雨もお祭りが始まる頃には止み、お客さんの出足も好調。お昼過ぎには売切れる模擬店もありました。今回初めての2事業所合同での開催で、不届きながらも、ご協力をお願いいたします。ありがとうございました。

にりん草 お祭り情報

まへの秋祭り(まへの福祉作業所)

平成29年11月4日(土) 10:30~14:30 (販売は14:00終了) (雨天決行)

場所:まへの福祉作業所&前野3丁目集会所

板橋区前野3-17-12 TEL03-3965-1031

都営三田線志村坂上駅より徒歩15分

スーパーカスミ側

◎まへの秋祭りでは、焼きそばやカレーの模擬店、バザー、利用者の舞台発表、いたばしのいっぴんなどを販売いたします。

いたばしのいっぴんは中野製菓のかりんとう、梅香亭の和菓子、豊華食品の特選ラーメンなどがあります。今年も調理職員手づくりの自慢のスイーツをご用意しておりますので、大勢の方のお越しをお待ちしています。



おおやまフェスタ2017(おおやま福祉作業所)

平成29年11月12日(日) 10時00分~14時30分

(雨天でも行います)

場所:おおやま福祉作業所

板橋区大山金井町21-1 TEL:03-5995-6186

東武東上線大山駅から徒歩7分、都営三田線板橋区役所前駅から徒歩10分

◎一度食べたらずみつきになる「きせんの肉まん」

が移動販売車で登場。作業所内では自慢のカレーライスやフランクフルト、手づくりの絶品スイーツもお楽しみに。また射的やスーパーボールすくいといった子ども向けゲームも用意しました。午後の部では、ラテン系ミュージシャンのポッポ渋谷ライブ(予定)をはじめ太鼓やダンスなどのパフォーマンスも必見です。ぜひお越しください。



法人の新体制紹介

「社会福祉法」が改正され、29年度より全ての社会福祉法人が新しいところ。また、にりん草の生活介護は、作業能力が高いことが特徴といえます。それ故、作業面においても作業の内容を共通にしていくことも重要となってきます。とくまるが受注している業者の協力を

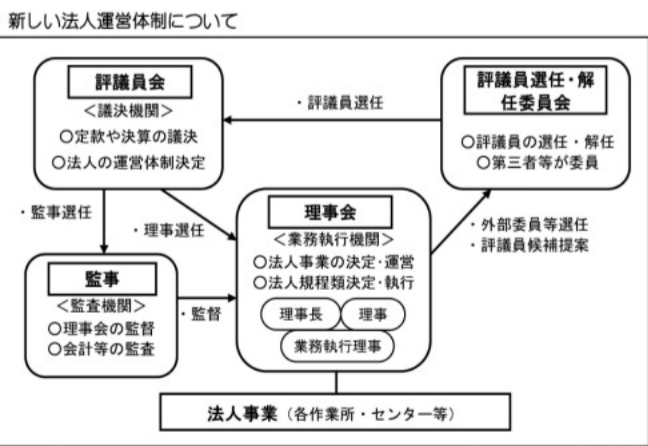
平成29年度は両施設の交流に視点を置いて取り組むことにしました。行事面では、5月に合同でバスハイイクを実施しました。車内ではカラオケを控え、利用者同士の会話を楽しむことにしました。さらには、太鼓やダンス、音楽療法などのクラブ活動等も合同で行い、仲間意識を高めてきました。また、10月末に行う宿泊行事では、送迎車が運行されるとともに、利用者の意向を反映したゆとりのある日程で、より交流を深めていきたいと考えています。これらの取り組みは、就労継続Bの単独事業所となる、とくまるでも行われて

事業再編に向けて

このような事業の再編においては、利用者の不安をできる限り軽減していくことが最も必要と考えます。そのため、

生活介護事業の取り組み

得て、仕事を分けてもらうなど、お互いに情報を共有して取り組んできました。その結果、就労継続Bのバスハイイク時に、はすねで一日を過ごした際には、作業もスムーズに行うことができました。給食も一緒に取り、おやつ作りも行ない、共通の時間を持つことができました。



- 【評議員】(7名) (任期4年)
遠藤栄子 岡田馨 金井厚子
田中恵 深町聡子 宮崎和彦
茂木好子
- 【監事】(2名) (任期2年)

こんな研修・講演会に参加しました 7月~9月

- 北村晶子 柴田裕士
- 【理事】(6名) (任期2年)
- 小西早苗 (理事長)
- 梅島由男 矢野綾子
- 吉川眞智子 (業務執行理事: 事業担当)
- 田崎和夫 (業務執行理事: 会計・業務担当)
- 丸山 晃 (業務執行理事: 人材育成担当)
- ・ 障がい者の虐待防止について(都立中央・城北職業能力開発センター)
- ・ ダウン症支援セミナー
- ・ 共生社会を支えるための障害児者とのコミュニケーション技術研修会(全国障害者福祉センター)
- ・ 福祉施設における大規模災害(淑徳大学)
- ・ 福祉施設経営基礎研修(東京都社会福祉保健医療研修センター)
- ・ 感染症対策(都立中央・城北職業能力開発センター)
- ・ 社会福祉法人制度改革研修会(三井ホーム(株)、三井デザインテック(株))
- ・ 「個別支援計画」作成および運用に関する研修会(全国障害者総合福祉センター)
- ・ 住むを支える事業について(垣根を超えた高齢障害者の暮らしの支援について(東京都育成会地域法人協議会))

編集後記

10月だというのに蝉の声が聴こえてきてビックリ。季節外れの暑さに、間違えて土の中から出てきてしまったのかな。(KY)

ふたつの輪



発行
2017年10月17日
No. 2903
社会福祉法人
にりん草
東京都板橋区
大山金井町21-1
03-5926-8640
<http://nirinsou.jp/>

大切にしているのは心と心のつながり

利用者や家族のあれこれにこれこれにこたえる

生活支援センターにりん草(以下センター)

センターってどんなところ?

生活支援センターにりん草(以下センター)は知的障害者の支援を目的に平成17年にオープンしました。居宅介護、重度訪問介護、移動支援の居宅部門と、サービス等利用計画を作成する相談支援部門があります。

居宅部門

居宅介護はヘルパーが通院に同行したり、自宅に訪問して食事の介助や入浴の介助等をするサービスです。

重度訪問介護は常に介護を必要とする方にヘルパーが自宅を訪問し、入浴、排せつ、食事等の介護、調理、洗濯、掃除そして外出支援など生活全般にわたる援助を総合的に行うサービスです。

移動支援は社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動等の社会参加のための外出を支援するサービスです。センターの居宅部門の約91%の収益は移動支援です。平成28年度は板橋区内285事業所ある中で区内の移動支援総利用時間数102,846時間の内約6.9%にあたる7,122時間をセンターがサービス提供しました。

ヘルパーの支援の質の向上をめざし、月に一度はヘルパー同士で日頃の支援について意見交換をしあう茶

平日のヘルパー利用の例

Sさんは生活介護を利用しており、送迎バスに乗って利用するポイントと降りるところを降ります。

スケジュール

16:00 バスポイントお迎え。A線B駅前からバス乗車。乗り換えてC線電車に乗って外出等。
【散策中、自販機でジュースを購入しますが、カバンにしまします】

19:00 ご自宅着。サービス終了
※上記の時間はおよその時間です



から利用が始まります。時間は16時〜19時の3時間。保護者の仕事の都合に応じて月に5〜8回利用しています。サービス利用することもあります。スケジュールは別冊のスケジュールにある散歩の利用です。ヘルパーの手元に送られてくるサービス提供依頼書にも同様の指示が書かれています。Sさんの場合、スケジュール

平日利用の他の例として、バスポ

休日のヘルパー利用の例

Nさんは区外のグループホームで暮らしています。実家に帰省した時にヘルパーを利用しています。

スケジュール

9:40 ご自宅お迎え 駅まで徒歩
10:00 三田線D駅→日比谷<乗換>有楽町線:有楽町→新木場
11:05 新木場駅到着 ※お弁当購入(駅前にコンビニがあります)
11:25 都バス 木川系統「若洲キャンプ場」行きに乗車
終点「若洲キャンプ場前」下車(バス所用時間15分)
11:45 公園到着(ランチ・サイクリング)展望台で昼食
12:30 展望台出発
13:05 「若洲キャンプ場前」から 木川系統「東陽町駅」行
新木場駅下車 行きと同じルートで帰ります。
14:40 ご自宅到着。サービス終了。

イントから自宅にまっすぐ帰る人、夕食を購入して帰る人、カラオケに行く人、当センターに立ち寄り人等様々です。時間も30分〜3時間と個々の要望に応じています。朝の送迎や赤塚ホームへの送迎に利用する方もいます。

Nさんは区外のグループホームで暮らしています。実家に帰省した時にヘルパーを利用しています。1週間の帰省中にはボウリング、カラオケ、散髪、片道1時間弱の散歩等支援の依頼があり何をするかは本人が決めているそうです。この日は公共交通機関を乗り継いでの外出です。Nさんの場合、トラブルのない限りスケジュールに忠実に支援を行うことで本人の安心につながります。

TEL: 03-6785-1575
申し込み FAX: 03-6785-1576
メール: nirinsou120@jcom.home.ne.jp

知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成研修講座

2日間で資格取得(通学形式)

募集開始 9月25日(月)

学割あり! 受講料半額

修了証明書交付

多様な申込 裏面参照

未経験者 歓迎!

日程 平成29年10月28日(土)、29日(日)

会場 おおやま福祉作業所 多目的室 (板橋区大山金井町21-1 裏面地図参照)

実習 上記日程終了後、一日(6時間)の実習があります。実習期間は11月1日~12月28日の中から一日となります。

定員 20名(先着順。定員になり次第締め切ります。)

費用 受講料10,000円(税込)、テキスト代1,000円(税込)

お申し込み先: 社会福祉法人にりん草 TEL: 03-6785-1575 FAX: 03-6785-1576

保護者の方の話では、スケジュールを示し見直しをつけやすいように、その繰り返しからパニックが減り、応用力がついてきたとのことでした。具体的には昼食を予定していたものより値段の高いものを食べたくなった↓そのた

移動支援は平日夕方、土・日・祝日に利用希望が重なりやすい

傾向があります。また、全てのヘルパーが利用希望の多い時間帯に支援を入れるわけではなく、慢性的にヘルパー不足となりやすい現状です。ヘルパー確保に常に努力をしていますが、全ての方のご要望に答えられないときもあります。しかし、利用者の皆さんの満足が高まり、利用者もヘルパーも笑顔が増え、心と心がつながる関係を作っていけるようにコーディネートしていきたいと思

相談支援部門

①利用者自身から「どんな生活をしたいか」「困っていることはないか」を聞き、②希望する生活を現実にするために必要なサービス等利用計画を作成する。③利用の手続きに必要かを一緒に考え、④実際に希望通りの生活を送っているか振り返りをして、⑤「モニタリング報告書」を作成する。この計画によりサービス利用に必要な受給者が福祉事務所から発行されます。現在133名の利用者を3名の相談支援専門員が担当しています。これからも「人生」の主人公である利用者の皆さんの応援団であり続けたいと思います。

「表情よく帰ってきたね」という感想を頂きました。休日利用の他の例として、映画を観に行く人、遊園地・水族館・美術館などにいく人、習い事・サークル等に参加する人、体育館のジムを利用する人、食べる人が、歩きがした